



朝日とともに、九州へ、関西へ。

※朝日の風景とさんふらわあはイメージ合成写真です。



大阪／志布志(鹿児島)航路
さんふらわあターミナル(大阪)第2ターミナル ↔ 志布志港(鹿児島)
さんふらわあ さつま／きりしま



神戸／大分航路
神戸港(六甲アイランド) ↔ 大分港
さんふらわあ ごーと／こはる



大阪／別府航路
さんふらわあターミナル(大阪)第1ターミナル ↔ 別府国際観光港
さんふらわあ あいぼり／こはると

Contents

22	九州ブロック	朝倉／小城／人吉／山鹿／日田／杵築／日南／知覧
21	四国ブロック	大洲／安芸／中村
18	中国ブロック	倉吉／松江／津和野／津山／高梁／尾道／山口／萩
16	近畿ブロック	伊賀上野／京都／出石／丹波篠山／龍野
15	中部ブロック	城端／郡上八幡／森／西尾
12	関東・甲信越ブロック	古河／足利／栃木／佐野／嵐山／小川／加茂／飯山
11	東北ブロック	岩出山／村田／湯沢／角館／棚倉
10	日本全国の小京都41市町を巡る	
2	特集 テーマで巡る	町並み／城／祭／自然景観／温泉

全国京都会議とは...

昭和60年5月、全国に散在する小京都と呼ばれる26市町と京都が参加して「全国京都会議」が結成されました。京都とゆかりのまちが互いに手を携え、悠久の歴史と豊かな自然に培われた伝統や文化の魅力を広く全国に発信し、それぞれのまちのイメージアップと観光客誘致の相乗効果を図ることを目的としています。

全国京都会議への加盟は、次のような条件の一つ以上あてはまることを基準にしています。

- 1 京都に似た自然景観、町並み、たたずまいがある
- 2 京都と歴史的なつながりがある
- 3 伝統的な産業、芸能がある

令和3年3月現在、加盟は41市町となり、共同宣伝パンフレット・ポスターの作製・配布など、広域観光キャンペーンを展開するほか、年1回の総会を加盟市町持ち回りで開催しています。



発行 全国京都会議
事務局 公益社団法人京都市観光協会
☎ 075-213-1212

公式サイトは
こちら



Facebookは
こちら



Instagramは
こちら



※本誌のデータは、令和3年3月現在のものです。お出かけの前には、公式サイト等でご確認いただきますようお願いいたします。

小京都……。
わずか三文字の短い言葉に、
私たちは不思議な懐かしさと憧憬を覚えます。
悠久の歴史と豊かな自然に培われた伝統や文化、
季節を彩る風物詩、そこに住まう人々の暮らし……。
そんな文化を守り伝える小京都を訪ねてみませんか。
日々の暮らしのなかで忘れかけていた
懐かしい日本の原風景にきっと出会えるはずです。



はぎ
手火 山口県 ▶P20

江戸時代の古地図がそのまま使えるほどの町並みが残るまち。重要伝統的建造物群保存地区を4つ有しています。2015年(平成27年)には萩城下町を含む市内の5つの資産が「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されました。往時に思いを馳せながら町歩きを楽しめます。

城下町をプラプラと

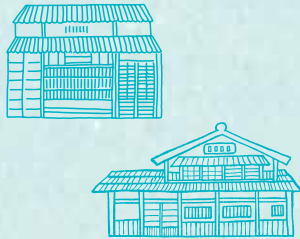


桜並木をつんびりと



やまぐち
山口 山口県 ▶P20

大内氏が京の鴨川に見立てたとされる一の坂川。一の坂川周辺は大内文化のなごりをとどめた史跡や明治維新で活躍した志士ゆかりの史跡が残る、歴史薫るエリアです。古い町屋を改装したショップやカフェも点在しています。



あさくら
朝倉 福岡県 ▶P22

朝倉市の北西に位置する秋月地区は「筑前の小京都」。秋月氏、黒田氏の栄華がひっそり眠る城下町であり、今も古に逢えるまちです。その町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。春は桜、秋はもみじと四季折々の風景が美しいです。



戦国武将も通ったかも?!

きつさ
杵築 大分県 ▶P23

武家屋敷や石畳の坂道が多く残されている「九州豊後路の小京都」。南北の高台に武士が住み、その谷間に商人が暮らした凹凸の地形を活かした城下町は日本唯一といわれています。着物姿で散策したくなるまちです。



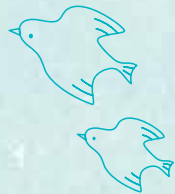
着物姿でワクワク散策



江戸時代にタイムスリップ?!

ちらん
知覧 鹿児島県 ▶P24

NHK大河ドラマ「西郷どん」のロケ地になった知覧武家屋敷庭園群。約270年前から変わらぬ姿を保ち続けています。「薩摩の小京都」と呼ばれ、町並み全体がまるで箱庭のようです。国の名勝に指定されている庭園・屋敷・通りに、薩摩武士が残した数々の工夫や趣向が残ります。



美しい景観と川をせせりぎにうっとりと

とちぎ
栃木 栃木県 ▶P13

栃木県南西部にある静かなたたずまいのまち。市内中央には風情あふれる巴波川が流れています。古くは、例幣使街道の宿場町、巴波川の舟運による問屋町として政治・経済・文化の中心地として栄えました。現在も往時の姿を色濃く残しています。

いずし
出石 兵庫県 ▶P17

五万八千石の城下町として栄えたまち。まちのシンボル「辰鼓楼」を中心に自然豊かな景観のなかに町並みが形成され、往時の都市構造がそのまま残されています。現在は、関西一のそば処として多くの観光客が訪れます。



醤油の香り漂う城下町

たつの
龍野 兵庫県 ▶P18

龍野藩五万三千石の城下町であるまち。2019年(令和元年)12月に、たつの市龍野伝統的建造物群保存地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。散策しながら随所に歴史の深さを発見することができます。



くらよし
倉吉 鳥取県 ▶P18

伝統的な町家づくりの商家と白壁の土蔵が立ち並ぶ、白壁土蔵群。玉川に架かる石橋や赤瓦は独特の風情が感じられます。かつて、造り酒屋や醤油屋として使用されていた白壁の土蔵や建物は、物産館・喫茶店・ギャラリーなどに利用され、今でもにぎわいを見せています。



レトロな風情を満喫

おのみち
尾道 広島県 ▶P20

広島県東部の瀬戸内しまなみ海道本州側玄関口である、日本情緒豊かなまち。北前船の寄港地として栄え多くの寺院が建立されたこと、また多くの文人墨客が愛したことから「寺のまち文学のまち」としても知られています。



「坂のまち」ならではの絶景



町並み
TOWNSCAPE

タイムスリップした気分で、風情ある町並みを散策

いいやま
食反山 長野県 ▶P15

日本有数の豪雪地。雪国ならではの「雁木」が施された通りは、伝統的工芸品「飯山仏壇」の仏壇店が軒を連ね、通称「仏壇通り」とも呼ばれています。20余の寺社が点在する寺町でもあり、四季折々風情ある町並みを楽しむことができます。



ノスタルジックな寺町♪



桜の名所！
津山市のシンボル！

つやま
津山 岡山県 ▶P19

本能寺の変で討死した森蘭丸の弟森忠政が築いた津山城（鶴山公園）。日本三大平山城のひとつです。県内唯一「日本のさくら名所100選」に選定された西日本有数のお花見スポット。復元された備中櫓にて「御城印」も販売しています。

幻想的な「天空の城」



たかはし
高梁 岡山県 ▶P19

現存12天守の一つで国指定重要文化財である備中松山城。天守が現存する城のなかで唯一の山城であり、日本三大山城にも選ばれています。また雲海に浮かぶ幻想的な姿から「天空の城」と呼ばれています。猫城主さんじゅーろーの愛くるしいお出迎えでも話題です。



実は博物館！
この名も「しろうと」!!

なかむら
中村 高知県 ▶P21

山内一豊の弟、康豊の居城であった中村城跡にある四万十市郷土博物館「しろうと」。館内では、四万十川や支流と紡いできた暮らしや歴史・文化の紹介や、土佐一條家、中村山内家などに関する資料の展示をしています。

にちなみ
日南 宮崎県 ▶P24

伊東家五万一千石の飢肥城跡。樹齢100年の飢肥杉を使用して復元した「飢肥城大手門」、甲冑や刀剣など貴重な文化遺産が展示されている「飢肥城歴史資料館」、旧藩校「振徳堂」などの由緒施設が点在しています。風情ある町並みは伝建地区に選定されています。



これぞ国宝「松江城」!!

まつえ
松江 島根県 ▶P18

松江市のシンボルである松江城。山陰で唯一、また全国に現存する12天守の一つです。1611年（慶長16年）築城され、別名「千鳥城」とも呼ばれています。2015年（平成27年）7月国宝に指定されました。天守最上階では松江市街や宍道湖が一望できます。



地元住民の思いで復元

おおず
大洲 愛媛県 ▶P21

2004年（平成16年）に当時のまま復元された大洲城。大洲は加藤家六万石の城下町として栄え、現在も昔ながらの町並みが至るところに残されています。まちの中心には、清流肱川が流れており小京都の風情を感じることができます。



情緒あふれる飢肥の城下町

歴史ロマンにひたりながら散策



がじょうはちまん
郡上八幡 岐阜県 ▶P15

日本最古の木造再建城として知られている郡上八幡城。城下を一望できる八幡山の頂上に有り、常に歴史の変遷を見守ってきたまちのシンボルです。司馬遼太郎氏は「街道を行く」のなかで、悲しくなるほど美しい城であると感動を記しています。



日本最古の木造再建城！

日本有数の高さを誇る高石垣

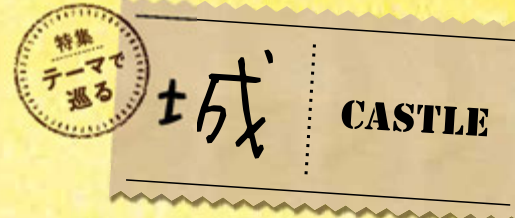


いがうえの
伊賀上野 三重県 ▶P16

城づくりの名手・藤堂高虎により拡張・改修された伊賀上野城。日本有数の高さを誇る高石垣と内堀は400年の歴史を誇ります。現在の天守閣は1935年（昭和10年）に建てられた貴重な木造の復興天守閣です。春は桜の名所としても有名です。



徳川家康が築城！



風格漂う名城で、武将たちの攻防の歴史に思いを馳せる



桜のトンネルが人気

さの
佐野 栃木県 ▶P13

1602年（慶長7年）、佐野信吉が築いた佐野城。現在は城山公園となり、春は桜やツツジ、秋はもみじの名所として親しまれています。佐野城を中心に基盤目状の町並みが作られ、江戸時代には京からの日光例幣使の宿場町としても栄えました。



城下町の趣を味わう...



にしお
西尾 愛知県 ▶P16

六万石の城であった西尾城。鎌倉時代初期に足利義氏が築城した西条城が始まりと伝えられています。現在は歴史公園として城の一部が再建され、園内には京都から移築した旧近衛邸や京風庭園の尚古荘が見学できます。美しい庭を眺めながら名産のお抹茶を是非ご賞味ください。

たんばさきやま
丹波篠山 兵庫県 ▶P17

1609年（慶長14年）、徳川家康が大坂城攻略の拠点として「篠山」という小高い丘に築かせた城が篠山城。1944年（昭和19年）の火災で焼失するまでの335年間、篠山城二の丸にあった大書院は約半世紀ぶりに復活しました。

毎年7月に行われる森町の山名神社天王祭。天王祭舞楽が奉納され、特に蟬の舞はカマキリのかぶり物をつけて舞う全国的にも珍しい昆虫の舞です。小國神社、天宮神社の十二段舞楽とあわせて「遠江森町の舞楽」として国の重要無形民俗文化財に指定されています。



荘厳な雰囲気、
思わずため息

まるで忍者のような黒い頭巾をかぶり、静かに舞い踊る津和野踊り。400年以上続いてきた津和野の伝統行事です。毎年8月15日の夜、太鼓・三味線・笛の音色のもと、殿町通りで舞い踊ります。お子様から大人の方までどなたでも参加できます。

伝統的でとても優雅！

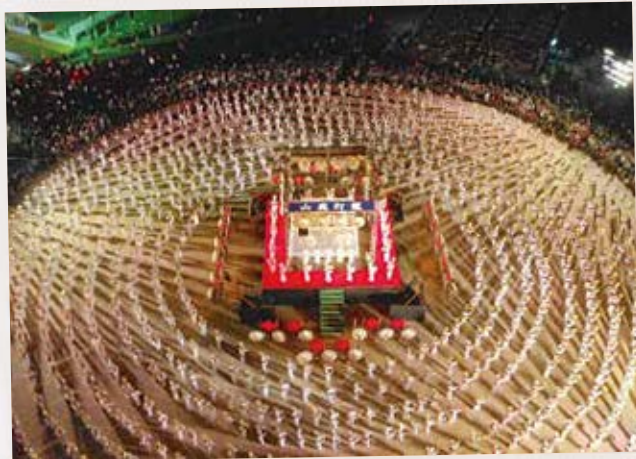


300年の歴史をもつ城端神明宮の祭礼である曳山祭。江戸期から続く神迎え行列の形式が特徴的。伝統工芸の粋を尽した曳山と曳山を先導する庵屋台から流れる庵唄は雅で情緒があります。幻想的な夜の提灯山も必見。国重要無形民俗文化財とユネスコ無形文化遺産に登録されています。



伝統ある津和野踊りは必見！

熊本を代表する夏の風物詩、山鹿灯籠まつり。毎年8月15日・16日の2日間開催されます。特に圧巻なのは、16日の「千人灯籠踊り」。頭に金灯籠を掲げた千人の女性たちが、よへほ節の調べにのせて優雅に舞い踊ります。



幻想的な灯りの舞いに魅了！



800年以上も続くお祭り！

800年余り続く布袋まつり。山車の上で柔和な表情を見せる頭の長い特別な「ほていさま」を見ることができます。お祭り当日は蔵の町並みが歩行者天国となり、ストリートイベントなども行われます。



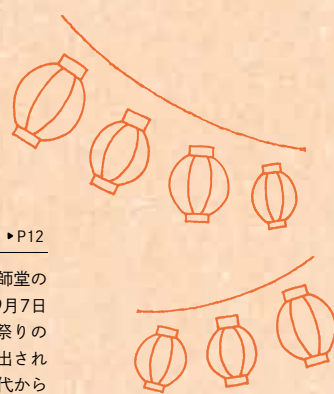
祭、 FESTIVAL

日本文化を再発見！各地の
伝統を守る個性豊かな祭り



豊かな手踊りにくぎづけ！

角館神社と成就院薬師堂の祭典に合わせて、毎年9月7日～9日に行われる角館祭りのやま行事。各丁内から出される大型のヤマが江戸時代から残る町並みを曳き廻します。お殿様（現・佐竹北家当主）に曳山をお披露目する、全国でも珍しいお祭りです。



1949年（昭和24年）から続く小川町を代表する祭りのひとつ小川町七夕まつり。小川町の特産品である「和紙」をふだんに使った七夕飾りと、祭りばやしの音色で町中がにぎわう2日間。初日の夜には花火大会が行われ、祭りの夜空を彩ります。



カラフルに彩られたお祭り！

美しく咲き誇る桃の花



古河を代表する祭りのひとつ古河桃まつり。毎年3月20日～4月5日に開催されます。古河公方公園に多くの花桃が美しく咲きほこるなか、野点・ステージイベント・郷土土産品の販売などが催されます。



国の重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている日田の夏の風物詩、日田祇園祭。山鉦を曳き回す勇壮な姿と、山鉦の美しさは一見の価値があります。また、年に一度、9基の山鉦が集結する日田祇園山鉦集団顔見世は、晩山として開催。山鉦の巡行に合わせて流れる祇園囃子の音色に魅了されます。

絢爛豪華な山鉦が圧巻！！





深い緑に感動…

あき
安芸 高知県 ▶P21

約300万年前の地層が隆起し、波によって削られ現在の形となった伊尾木洞。全長約40mの洞窟を抜けた先には、国の天然記念物に指定されているシダ群落が織りなす緑の幻想的な世界が広がっています。



桜の美しさを満喫

おさ
小城 佐賀県 ▶P22

小城藩初代藩主鍋島元茂から二代藩主直能によって作られた名庭園である小城公園。その桜はさくらの名所百選に認定されています。毎年3月下旬～4月上旬には約3000本の桜が色鮮やかに咲きほこっています。



屋形船で夜景を楽しむ

ひた
日田 大分県 ▶P23

水郷の名にふさわしく水が豊かで美しい地にある日田は、温泉地としても有名。市内を流れる三隈川では、屋形船での夕食と鵜飼見物を楽しむという風流な川遊びも残っています。

かも
加茂 新潟県 ▶P14

加茂市東部の粟ヶ岳を水源とし、市街地を二分するように流れる加茂川。毎年4月中旬～5月上旬には、およそ600匹の鯉のぼりが約150mに渡って飾られるほか、夏の花火大会、冬の鮭漁と四季折々の景色が楽しめます。



空に舞う姿は圧巻!!

ひとよし
人吉 熊本県 ▶P22

市の中央部を流れるのは日本三急流の一つ球磨川。球磨川を木舟に乗って下る「球磨川くだり」は、100年以上この地を訪れる人々に愛されています。船上からは人吉城跡をはじめ四季折々の景観を楽しむことができます。(令和2年7月豪雨災害により運休中)



つどかな風景に癒される

美しい自然に囲まれて、
日常を忘れてのんびりと



水面に映える紅葉がキレイ

たなぐら
棚倉 福島県 ▶P12

八溝山をはじめとする山々に囲まれ、自然豊かで四季折々の魅力的な風景を楽しむことができます。中心部にある棚倉城跡は、春は桜、秋は紅葉がお堀に映り込み美しい景色を堪能できます。また、数多くの歴史的建造物も残り、歴史のロマンを感じることができます。

自然景観
NATURAL LANDSCAPE



どこか懐かしい風景に癒された

らんざん
嵐山 埼玉県 ▶P14

昭和初期より「武蔵の嵐山」として人々に愛されるまち。春になると、嵐山渓谷下流にある都幾川の桜堤には全長2kmにわたり約250本のソメイヨシノが一斉に開花、訪れる人々を魅了します。

いわでやま
岩出山 宮城県 ▶P11

岩出山伊達家の隠居所・下屋敷・家臣子弟を教育する学問所であった旧有備館。岩出山城の断崖を借景とし、池中に島を配した廻遊式池泉庭園、園内を彩る木々や花々により四季折々の表情を見せてくれます。1933年(昭和8年)、国の史跡名勝の指定を受けました。



心落ち着く庭園でゆっくりと



大地の息吹を感じて

ゆざわ
湯沢 秋田県 ▶P11

皆瀬川の急流が長年にわたり両岸を深く浸食してできた小安峡谷。大地の息吹を感じさせるように98℃の熱湯と蒸気が激しく噴出しているのが、小安峡一の名所「大噴湯」です。春は新緑、秋はもみじ、そして冬は峡谷に下がる大きなつらら「しっこ」を楽しむことができます。

温泉
HOT SPRING

温泉で極上のひとときを、
体も心もリフレッシュ

やまが
山鹿 熊本県 ▶P23

「山鹿の奥座敷」と呼ばれる温泉地。ゆっくりとした時間が流れ温泉情緒漂う「いで湯の里」です。とろりとしたお湯は肌をしっとりとし落ち着かせ「美肌の湯」としても有名です。

にちなん
日南 宮崎県 ▶P24

「べっぴんの湯」と呼ばれる、豊かな森の緑に囲まれた癒しの秘湯。九州の小京都・飫肥から車で約15分の場所に位置しています。

ひとよし
人吉 熊本県 ▶P22

のどかな盆地に広がる人吉温泉は、「美人の湯」として知られています。温泉旅館の露天風呂からレトロな公衆浴場まで、約30軒の温泉が点在しています。

やまが
山鹿 熊本県 ▶P23

平安時代の文献「和名抄」にも温泉郷として登場し、1000年以上の歴史があります。「山鹿千軒たらいなし」と唄われるほどの豊富な湯量と、まろやかで柔らかな泉質が特徴です。

はぎ
萩 山口県 ▶P20

2004年に掘削された「はぎ温泉」により、「温泉郷」となりました。7つの泉質があり、気軽に日帰り入浴を楽しめる施設もあります。

あさくら
車台 福岡県 ▶P22

福岡県内で随一の湧出量を誇る温泉。泉質は、美肌効果もあるpH8.5以上の弱アルカリ性単純泉と単純硫黄泉が楽しめ、「ダブル美肌の湯」と呼ばれています。

まつえ
松江 島根県 ▶P18

宍道湖畔に湧き出る温泉。朝は日本一のシジミ漁の風景、夕方は日本夕陽百選にも選出された夕日を堪能できます。市内中心部に位置し、観光のアクセス抜群です。

やまぐち
山口 山口県 ▶P20

肌によく馴染むやわらかい湯が特徴の温泉。温泉だけでなくおいしい地酒や新鮮な海の幸も味わえます。山口県の中心部にあることから県内観光地への交通アクセスにも優れています。

くらし
倉吉 鳥取県 ▶P18

日本の名湯百選に選ばれ、開湯1300年の歴史ある温泉。「白金の湯」の名で親しまれています。日本有数のラジウム温泉で健康効果も高いとされています。

まつえ
松江 島根県 ▶P18

大国主命とともに国造りをした少名彦命が発見したとされる日本最古の温泉。「出雲国風土記」に「神の湯」と記された美肌温泉です。

たんばさやま
丹波篠山 兵庫県 ▶P17

多紀連山の麓、丹波篠山の自然と山の幸に恵まれた草山温泉。寛永年間からの歴史を持つ塩類温泉として、茶褐色の濁り湯で海水の1.5倍の塩分を含む強塩泉です。

たんばさやま
丹波篠山 兵庫県 ▶P17

その昔、一ノ谷の合戦で敗れた平家の落武者が隠れ里にして、この冷泉で傷の手当をし、薬師寺堂を建てたという伝説が残る温泉です。泉質は、アルカリ性の炭酸塩類・鉄分を含み、冷泉です。

にしお
西尾 愛知県 ▶P16

泉質はナトリウムや塩化物冷鉱泉などで、神経痛・筋肉痛・冷え・疲労回復などに効果的。三河湾の美味しい魚介類や素晴らしい景色を堪能できます。

たんばさやま
丹波篠山 兵庫県 ▶P17

湯量・泉質・湯温とともに優れた食塩泉です。地下1,300mから湧き出る効能豊かなお湯は保温効果に優れており「熱の湯」、「暖まる湯」と呼ばれています。

ゆざわ
湯沢 秋田県 ▶P11

開湯は江戸初期と古く、歴史ある温泉地。片足にけがを負った鶴がこの湯で傷を癒していたところから発見されたと伝えられています。観光名所に、小安峡大噴湯があります。



交通
JR陸羽東線岩出山駅下車
問い合わせ
大崎市岩出山総合支所
地域振興課
☎ 0229-72-1215
<https://www.city.osaki.miyagi.jp>



交通
JR東北本線大河原駅下車、ミヤコー
バス村田・川崎行きで20分
問い合わせ
村田町地域産業推進課
☎ 0224-83-2113
<http://www.town.murata.miyagi.jp/>



交通
JR奥羽本線湯沢駅下車
問い合わせ
(一社) 湯沢市観光物産協会
☎ 0183-73-0415



伊達な小京都

宮城県

岩出山



見どころ 旧有備館および庭園・岩出山城跡・内川遊歩道・陸奥上街道
行事 ●4月15・16日、11月15・16日／互市 ●9月第2日曜日とその前日／政宗公まつり ●11月下旬／大崎パルーンフェスティバル
工芸品 竹細工
味・グルメ 凍豆腐・かりんとう・酒まんぢう



仙台より北西へ50km、奥羽山脈より流れ出す江合川がまちを潤す山紫水明の地岩出山。伊達政宗公が仙台青葉城へ移るまでの12年間、血気盛んな青年期を過ごした城下町。城の防備を兼ねて開削された用水路「内川」は、400余年の歴史を刻み、水と緑の調子を滔々と今に伝えています。岩出山伊達家、3代敏親公と4代村泰公には、京都冷泉家より御輿入れがなされ、郷学「有備館」や、廻遊式池泉庭園をはじめ、しの竹細工・酒まんぢうといった地場産品にも、京文化のなごりを偲ぶことができます。



みちの宮城の小京都・村田

宮城県

村田



見どころ 蔵の町並み・龍島院・村田町歴史みらい館・白鳥神社奥州の蛇藤・スポーツランドSUGO
行事 ●10月体育の日の前日／布袋まつり ●10月第3土曜日を含む金・土・日曜日の3日間／みやぎ村田町蔵の陶器市
味・グルメ そらめ製品(米粉麺・うどん・アイス・菓子類など)・地酒・味噌・納豆



豪勢な店蔵や門が数多く残る村田は、古くから山形と仙台を結ぶ街道の商都として栄えてきました。紅花といえは山形県が有名ですが、宮城県南部でも栽培が盛んで、これらは村田に集められ村田商人の手によって関西方面や江戸に送られました。この紅花取引で財を築いた商家の蔵が今も通りに面してたち並ぶ景観は、訪れる人々を魅了します。また、町内には龍島院や白鳥神社境内に悠然とそびえる巨木など見どころがたくさんあります。四季の自然がまばゆい蔵のまちへぜひおいでください。



美っ郷ゆざわ

秋田県

湯沢



見どころ 川原毛地獄・川原毛大湯滝・力水・造り酒屋・秋の宮温泉郷・小安峡温泉・稲庭城・湯乃華芸妓
行事 ●2月第2土・日曜日／犬っこまつり ●3月第3日曜日／風あげ大会 ●6月第2土・日曜日／小町まつり ●8月5日～7日／七夕絵どうろうまつり ●8月7日／七夕健康マラソン ●8月8日／雄勝大花火大会 ●9月下旬／大名行列 ●10月中旬／川連塗りフェア ●10月上旬／稲庭城まつり ●10月上旬／まるとうどんEXPO
工芸品 こけし(木地山系など)曲木家具・まなぐ風・川連漆器
味・グルメ 日本酒・みそ・しょうゆ・漬物・さくらんぼ・稲庭うどん・三梨牛



湯沢市は佐竹南家の城下町として栄えてきました。市内の南北を雄物川が貫流し、西に出羽富士と呼ばれる鳥海山を望む風光明媚なところ。夏の雅やかな「七夕絵どうろうまつり」や「大名行列」冬の「犬っこまつり」をはじめ、小京都らしさが息づいており、秋田美人の里でもあります。また「東北の灘」と称されるほど酒造業が盛んなところでもあります。郊外には温泉地帯があり、日本三大霊地として名高い「川原毛地獄」や天然露天風呂「川原毛大湯滝」「小安峡大噴湯」など必見の名所があります。

日本全国の 小京都 41市町を巡る

日本国内を旅すると実は各所に存在する「小京都」。

京都のように古い歴史を感じながら、

京都とは趣の異なる景観を楽しめる市町がたくさんあります。

各市町の見どころや、行事、工芸品、グルメまで…

これからご紹介する小京都を巡れば、

京都とはひと味ちがう魅力にふれるはずです。



特集 テーマで巡る (P.2～9)でピックアップしたテーマを載せています。



交通
JR両毛線足利駅および
東武伊勢崎線足利市駅下車
問い合わせ
(一社) 足利市観光協会
☎ 0284-43-3000
<https://www.ashikaga-kankou.jp/>



交通
東武鉄道日光線栃木駅および新栃
木駅下車 JR両毛線栃木駅下車
問い合わせ
(一社) 栃木市観光協会
☎ 0282-25-2356
<https://www.tochigi-kankou.or.jp/>



交通
JR両毛線および東武鉄道
佐野線佐野駅下車
問い合わせ
(一社) 佐野市観光協会
☎ 0283-21-5111



豊かな自然が美しい歴史と
文化と花のまち 足利

栃木県

足利



Q 見どころ 右記日本一の足利三名所・日本三大五百羅漢尊の徳蔵寺・日本三大毘沙門天の大岩山毘沙門天・天然記念物の名草巨石群・足利七福神・足利氏ゆかりの社寺ほか
♪行事 ●1月1日～5日／鏝阿寺初詣 ●2月3日／節分鑑年越 ●2月1日～2月末／足利冬物語 ●4月中旬～5月中旬／大藤まつり ●4月下旬～5月上旬／足利春まつり ●6月1日／初山祭 ●8月第1土曜日／足利花火大会 ●8月初旬／足利夏まつり ●9月のいづれかの土曜日／足利新能 ●10月下旬～2月上旬／あしかがフラワーパーク光の花の庭 ●11月19・20日／恵比寿講 ●11月中旬／足利学校さままつり ●11月23日／釋奠 ●**工芸品** 解し織・藍染め・草木染め ●**グルメ** 和菓子・ワイン・蕎麦・会席料理など

足利市は栃木県の南西に位置し、奈良時代以前から織物を中心として栄えてきました。また、日本一の名にふさわしい三名所のある街としても有名です。一つ目は源姓足利氏の学問所として創建説のある日本最古の学校「足利学校」と2013年(平成25年)8月に本堂が国宝指定された足利一門の氏寺「鏝阿寺」。二つ目は伊萬里・柿右衛門・鍋島の世界コレクションを所蔵する「栗田美術館」。三つ目は日本一の藤棚に代表される花のテーマパーク「あしかがフラワーパーク」です。そして、清流渡良瀬川や緑なす山並みなど豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統に彩られた「東の小京都」と称される美しい街です。



(仮)東の小京都
里に集まる街、蔵の街とちぎ

栃木県

栃木



Q 見どころ とちぎ山車会館・とちぎ蔵の街美術館・山本有三ふるさと記念館・大神神社(室の八鳥)・太平山県立自然公園・満願寺
♪行事 ●4月上旬／花まつり(さくら、カタクリ) ●6月中旬～7月上旬／あじさいまつり ●8月第1日曜日／百八燈流し ●8月上旬／蔵の街サマーフェスタ ●11月中旬／とちぎ秋まつり(2年に一度) ●**工芸品** ミニ下駄 ●**グルメ** 太平山名物(焼き鳥、たまご焼、太平だんご)・出流そば・夕顔らーめん・じゃがいも入り焼きそば

栃木県の南部にあって、東に筑波山、西に太平山、北に日光連山にかこまれ、市内中央に巴波川が流れる静かなたたずまいの街です。幕末から明治年間にかけて日光例幣使街道の宿場町として、また巴波川の舟運により商人町として賑わい、見世蔵や土蔵が軒を連ね政治・経済・文化の中心として栄えた商都であり、今なお商人町の姿を残しています。川面に影をおとして並ぶ蔵屋敷と白壁の家並み、清流と掘割に群れ遊ぶ鯉、四季折々の彩りをみせる県立自然公園太平山、樹木につつまれた出流山満願寺、そのほか多くの名所が点在し訪れる人々に潤いと安らぎを与えてくれる街です。



自然と歴史、人情と
ロマンの小京都

栃木県

佐野



Q 見どころ 佐野厄よけ大師・万葉自然公園「かたくりの里」・唐沢山神社・出流原弁天池
♪行事 ●1月／佐野厄よけ大師大祭 ●3月上旬／一瓶塚稲荷神社初午祭 ●3月下旬／かたくりの花まつり ●4月25日／唐沢山神社春季大祭 ●7月中旬／八坂神社夏祭り ●7月下旬／浅間火祭り ●8月上旬／さの秀郷まつり ●8月15日／三義山大文字焼 ●8月18日／み魂まつり ●10月25日／唐沢山神社秋季例大祭 ●11月1日～23日／関東菊花競技大会 ●**工芸品** ひな人形・天明鋳物・土鈴・栃木鬼瓦 ●**グルメ** 佐野らーめん・いもフライ・かき菜まんじゅう・佐野名水豆腐・しんこまんじゅう・耳うどん・桜あんぱん

私たちのふるさと佐野は、詩情あふれる三義山、藤原秀郷公ゆかりの唐沢山と豊かな自然に恵まれ、歴史と文化の香り高いまちです。特に日本名水百選に選ばれた出流原弁天池の湧き水に代表される名水は、さまざまな食品に利用され自慢の逸品として多種、販売されています。かつては日光例幣使街道の宿場町として栄えてきた佐野は、自然と時代のドラマに出逢える感動の旅が味わえます。



町全体が
貴重な歴史遺産

秋田県

角館



Q 見どころ 国の重要伝統的建造物群保存地区の武家屋敷・角館樺細工伝承館・シダレザクラ・松木内川堤の桜並木・天寧寺
♪行事 ●2月14日／火振りかまくら ●4月20日～5月5日／桜まつり ●8月15日／送り盆 ●9月7日～9日／角館のお祭り ●**工芸品** 樺細工・白岩焼・イタヤ細工 ●**味・グルメ** 生もち・かりんとう・おぼろ餅・なると餅・いぶり漬・キリタンポ鍋・しょつつる鍋・稲庭うどん・御狩場焼

三方を緑濃い山々に囲まれた静かな盆地に位置する角館は、1620年(元和6年)に角館地方を領していた芦名義勝によって造られ、その後佐竹北家の城下町として栄えました。まちの北側に位置する武家町(内町)は、深い木立が覆い今も落ち着きある佇まいのなかに、往時の姿を見ることが出来ます。また南側には町人町(外町)があり、商家の蔵や座敷が公開されています。町割りから400年余、その形は大きく変わらず文化財も数多く残る角館は、今もなお歴史の息づくまちでもあります。現存する武家屋敷と商家の屋敷を見比べながら歴史散策が楽しめます。



東北の小京都

福島県

棚倉



Q 見どころ 棚倉城跡・山本不動尊・赤館公園・馬場都々古別神社・八槻都々古別神社・花園しだれ桜・流麿寺跡・八満山・ルネサンス棚倉
♪行事 ●旧暦1月6日／八槻都々古別神社 御田植祭 ●4月中旬／十万石棚倉城まつり ●8月14日／棚倉夏まつり ●10月上旬／棚倉秋まつり ●12月第2土・日曜日／八槻都々古別神社霜月大祭 ●**味・グルメ** 米・ブルーベリー・イチゴ・和菓子など

東北地方の玄関口にあり、八溝山をはじめとする山々に囲まれている棚倉町。春には桜、夏はさわやかな新緑、秋はもみじ、冬の雪景色、四季折々の風景を楽しむことができます。平安時代に建立された山林寺院の流麿寺跡や、陸奥一宮である馬場都々古別神社と、奥州一宮である八槻都々古別神社の二つの一宮が現存するなど多くの神社仏閣が残っています。また、江戸幕府成立後、初めて棚倉藩を治めたのが立花宗茂です。その後、丹羽長重によって棚倉城が築城されました。以来、八家十六代の居城となつて栄えてきた、情緒あふれる城下町です。



歴史と自然が息づく
まち・花桃の里

茨城県

古河



Q 見どころ 古河歴史博物館・古河文学館・篆刻美術館・古河街角美術館・鷹見泉石記念館・古河公方公園(古河総合公園)・永井路子旧宅・奥原晴湖画室・お休み処坂長・ネーブルパーク
♪行事 ●3月下旬～4月上旬／古河桃まつり ●8月第1土曜日／古河花火大会 ●10月27日～11月23日／古河菊まつり ●12月第1土曜日／古河提灯竿もみまつり ●**工芸品** 竹工画 ●**味・グルメ** 鮎甘露煮・和菓子・地酒・どぶろく・御家寶・さしま茶・古河七福カレーめん

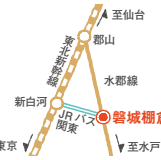
古河市は関東のほぼ中央に位置し、東京都心から電車で約1時間の好立地にあり、利根川と渡良瀬川の水利に恵まれ、2012年(平成24年)には、ラムサール条約湿地に登録となった渡良瀬遊水地を有するなど貴重な自然が残る街です。室町時代には関東公方の足利成氏が「古河公方」として本拠地を古河に置き、その後130年の間、関東一円の政治の中心となり、江戸時代には古河城の城下町日光街道の宿場町として栄えました。現在も当時の面影を残す街並みと多くの寺社が点在しています。例年開催される古河桃まつりは、江戸時代の古河藩主土井利勝が領地に桃を植えたことに由来し、会場の古河公方公園(古河総合公園)は、歴史と自然が融和した公園として2003年(平成15年)にメリナ・メルクリリ国際賞を受賞しました。



交通
JR秋田新幹線「こまち」および
田沢湖線角館駅下車
問い合わせ
仙北市観光情報センター
「角館駅前蔵」 ☎ 0187-54-2700
<https://tazawako-kakunodate.com/>



交通
JR水郡線磐城棚倉駅下車
問い合わせ
棚倉町観光協会
☎ 0247-33-7886
<http://www.town.tanagura.fukushima.jp>



交通
JR宇都宮線(上野東京ライン)および
湘南新宿ライン) 古河駅下車
問い合わせ
古河市観光協会
☎ 0280-23-1266 FAX 0280-23-3088
<http://www.kogakanko.jp/>





交通
JR飯山線および
JR北陸新幹線飯山駅下車
問い合わせ
信越自然郷 飯山駅観光案内所
☎ 0269-62-7000
<http://www.iiyama-ouendan.net>



日本のふるさと北信州 “雪国の小京都” いいやま

Ｑ見どころ 正受庵・真宗寺・飯山城址公園・仏壇通り・高橋まゆみ人形館・菜の花公園・鍋倉山のブナ林
♪行事 ●2月中旬／いいやま雪まつり・かまくら祭り ●5月上旬／いいやま菜の花まつり ●7月上旬／飯山仏壇体験フェスタ ●8月上旬／いいやま灯籠まつり ●8月14日／千曲川河畔納涼花火大会 ●10月上旬／いいやま寺町花街道&寺宝展

●**工芸品** 飯山仏壇・内山紙（ともに国伝統的工芸品）
♪**味・グルメ** 笹ずし・富倉そば・地酒（水尾・北光正宗）・アスパラガス・みゆきポーク・バナナポート



長野県 いいやま 町並み TOWNSCAPE

2015年（平成27年）3月14日に北陸新幹線飯山駅が開業しました。北信州飯山は「雪国の小京都」と呼ばれる寺の多い城下町。上杉謙信によって築城された飯山城を中心に歴代の城主と人々の深い信仰心の下、20余の寺社が点在しています。長野県史跡指定「正受庵・島崎藤村の名作『破戒』の舞台となった蓮華寺のモデル「真宗寺」をはじめ趣きあるたたずまいの寺社をめぐり遊歩道が結んでいます。千曲川のゆるやかな流れ・四季折々の花と緑に囲まれた自然と歴史ある町並みは、映画「阿弥陀堂だより」のロケ地にもなり、多くの映画ファンにも訪れていただいています。



交通
JR城端線城端駅下車
問い合わせ
（一社）南砺市観光協会
☎ 0763-62-1201
<http://tabi-nanto.jp>



機音と端唄が流れる里

Ｑ見どころ 桜ヶ池公園・城端別院善徳寺・城端曳山会館・じょうはな織館・縄ヶ池・城端伝統芸能会館じょうはな座・向野の桜
♪行事 ●2月28日／つごもり大市 ●4月／城端しだれ桜まつり ●5月4・5日／曳山祭 ●7月22日～28日／善徳寺虫干法会 ●9月敬老の日（第3月曜）直前の土・日曜日／城端むぎや祭 ●10・11月／なんと彩葉まつり
●**工芸品** 城端蒔絵・絹製品
♪**味・グルメ** かや焼・富山干柿・どじょうの蒲焼・かぶら煮し

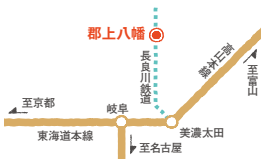


富山県 城端 FESTIVAL

城端は富山県の南西部に位置し、世界遺産「五箇山」のふもと「善徳寺」の寺内町として栄えました。屏風のように連なった山並みやまちを挟む二つの川、散居村と呼ばれる独特の農村風景など豊かな自然に恵まれ、古い蔵や石畳、路地や坂道の残るノスタルジックな町並みは越中の小京都と称されています。また、古くは加賀藩の一部として、城端塗り、絹織物などの独自の伝統文化を育んできました。なかでも曳山祭は城端人が作り出す文化芸術の結集で、2016年（平成28年）12月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。近年はアニメの舞台として訪れる人も多く、古さと新しさの調和が新たな魅力となっています。



交通
長良川鉄道郡上八幡駅下車
問い合わせ
郡上八幡観光協会
☎ 0575-67-0002
<http://www.gujohachiman.com/kanko>



水とおどりと心ふるさと

Ｑ見どころ 郡上八幡城・宗祇水・郡上八幡博物館・やなか水のコみち・いがわこみち
♪行事 ●1月20日／郡上本染寒ざらし ●4月第3土・日曜日／郡上八幡春まつり ●6月上旬／鮎友釣解禁 ●7月中旬～9月上旬／郡上おどり ●8月7日／城下町花火大会 ●10月上旬／市島高雄歌舞伎 ●11月中旬／郡上八幡城もみじまつり
●**工芸品** 郡上紬・郡上本染・食品サンプル
♪**味・グルメ** 肉桂玉・川魚料理・猪なべ・とちの実せんべい



岐阜県 郡上八幡 CASTLE

郡上市八幡町は、岐阜県のほぼ中央、清流吉田川が流れる「水とおどりの城下町」です。戦国末期、遠藤盛数が八幡山に城を築き、ふもとにまちをつくったのが城下町・郡上八幡のはじまりです。少しばかりのお国自慢は、四百年の間、唄い踊り継がれた郡上おどりの伝統と、心洗うせせらぎの音、清らかな水の流れ。移りゆく時代の流れから、半歩遅れて歩むような、郡上八幡とはそんなまちです。



緑と清流 やすらぎの嵐山

Ｑ見どころ 嵐山渓谷・国指定史跡菅谷館跡・杉山城・鎌形八幡神社・オオムラサキの森蝶の里公園・都幾川桜堤
♪行事 ●2月3日／節分祭 ●8月上旬／嵐山夏まつり ●10月第3日曜日／獅子舞 ●11月上旬／嵐山まつり（時代まつり） ●11月中旬／嵐山渓谷紅葉まつり
♪**味・グルメ** 地酒（おおむらさき）・味菜工房（嵐山のごちそう）・嵐丸焼き（焼菓子）・芋ようかん（紅東）（紫芋）・B級グルメ（嵐山辛モツ焼そば）・嵐山プリン（洋菓子）



埼玉県 らんざん 嵐山 NATURAL LANDSCAPE

嵐山町は埼玉県のほぼ中央に位置し、都心より60km圏にあります。比企丘陵の中核部を占めており、山・渓谷・台地ありと変化にとんだ自然の宝庫で、しかも木曾義仲や畠山重忠などの平安末期から鎌倉時代にかけて日本史に名を刻んだ坂東武者ゆかりの地でもあります。昭和の初め、この地を訪れた林学博士の本多静六博士が槻川の渓谷を見て「京都の嵐山に似ている」と感動したといわれている武蔵嵐山は、その後町制施行時に町名となり緑と清流のまち「嵐山」を代表する景勝地になっています。



世界に誇れる、和紙のふるさと おがわまち

Ｑ見どころ 埼玉伝統工芸会館・仙元山見晴らしの丘公園・下里分校
♪行事 ●7月第4土・日曜日（予定）／小川町七夕まつり ●12月第2日曜日／小川和紙マラソン大会 ●小川町3蔵 酒蔵めぐり（年により開催日は異なる）
●**工芸品** 小川和紙・絹織物・建具
♪**味・グルメ** 忠七めし・地酒（晴雲酒造・松岡醸造・武蔵鶴酒造）・のらぼう菜・地粉うどん



埼玉県 おがわ 小川祭 FESTIVAL

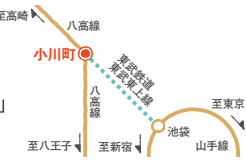
周囲を豊かな自然と外秩父の山々に囲まれ、まちの中央に槻川が清らかに流れる小川町は、1300年の歴史を誇る小川和紙をはじめ、酒造、建具、裏絹などの伝統産業で古くから栄え「武蔵の小京都」と呼ばれています。歴史を秘めてたずむ史跡や往時の面影をとどめる建物などが、かつての風情を今に伝えています。小川町観光協会が行う散歩ツアーにより、古き良き時代の町並みを深く味わうことができます。郊外には、県内の伝統的手工芸品を集めた「埼玉伝統工芸会館」があり、埼玉県伝統工芸士による紙漉きの職人技を見たり、手すき和紙体験などが楽しめます。3月下旬には、仙元山のふもとでカタクリの可憐な花が咲き誇り、穏やかな春の訪れを告げてくれます。



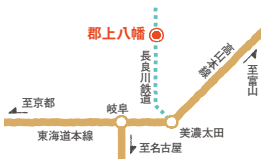
交通
東武鉄道東武東上線
武蔵嵐山駅下車
問い合わせ
嵐山町企業支援課
☎ 0493-62-0720
<http://www.town.ranzan.saitama.jp/>



交通
東武鉄道東武東上線および
JR八高線小川町駅下車
問い合わせ
小川町観光案内所「楽市おがわ」
☎ 0493-74-1515
<http://www.kankou-ogawa.com>



交通
長良川鉄道郡上八幡駅下車
問い合わせ
郡上八幡観光協会
☎ 0575-67-0002
<http://www.gujohachiman.com/kanko>



水とおどりと心ふるさと

Ｑ見どころ 郡上八幡城・宗祇水・郡上八幡博物館・やなか水のコみち・いがわこみち
♪行事 ●1月20日／郡上本染寒ざらし ●4月第3土・日曜日／郡上八幡春まつり ●6月上旬／鮎友釣解禁 ●7月中旬～9月上旬／郡上おどり ●8月7日／城下町花火大会 ●10月上旬／市島高雄歌舞伎 ●11月中旬／郡上八幡城もみじまつり
●**工芸品** 郡上紬・郡上本染・食品サンプル
♪**味・グルメ** 肉桂玉・川魚料理・猪なべ・とちの実せんべい



岐阜県 郡上八幡 CASTLE

郡上市八幡町は、岐阜県のほぼ中央、清流吉田川が流れる「水とおどりの城下町」です。戦国末期、遠藤盛数が八幡山に城を築き、ふもとにまちをつくったのが城下町・郡上八幡のはじまりです。少しばかりのお国自慢は、四百年の間、唄い踊り継がれた郡上おどりの伝統と、心洗うせせらぎの音、清らかな水の流れ。移りゆく時代の流れから、半歩遅れて歩むような、郡上八幡とはそんなまちです。



北越の小京都 雪椿と桐タンスのまち 加茂

Ｑ見どころ 青海神社・加茂山公園・栗ヶ岳県民休養地・下条川ダム・加茂美人の湯・冬鳥越スキーガーデンとバラ園
♪行事 ●4月中旬～下旬／雪椿まつり ●5月21日／加茂まつり ●6月15日／上条まつり ●8月14日／越後加茂川夏祭り
●**工芸品** 桐タンス・屏風・建具
♪**味・グルメ** 地酒（加茂錦・雪椿・マスカガミ）・菓子・ル・レクチエ（洋なし）・日本なし・桃・ぶどう



新潟県 加茂 NATURAL LANDSCAPE

加茂市は新潟県のほぼ中央に位置し、古くから北越の小京都といわれています。三方を山に囲まれた加茂の街を、県立自然公園栗ヶ岳を水源とする加茂川の清流が縦貫し、信濃川に注ぎます。市街地の近く、市民の憩いの公園として親しまれる自然豊かな加茂山公園は、豪雪地帯に咲く「ユキツバキ」の群生地として知られ、春には加茂山全体でおよそ五万本の花を咲かせます。また、「桐タンス」の産地としても有名で、「桐タンス」といえば加茂といわれるほど、その技術と品質は全国的に高い評価を受けています。



交通
JR信越本線加茂駅下車
問い合わせ
加茂市商工観光課
☎ 0256-52-0080
<http://www.city.kamo.niigata.jp>





交通 JR京都駅下車
問い合わせ 京都市観光協会
 (公社) 075-213-1212
<https://ja.kyoto.travel>



千年の都 京都府

Q 見どころ 清水寺ほか東山一帯・大原・嵯峨野、嵐山・二条城ほか市中・古社寺
J 行事 ●3月中旬／京都・東山花灯路●3月末～5月下旬／春のをどり●4月29日～5月5日／壬生大念仏会●5月15日／葵祭●6月1・2日／京都新能●7月1日～31日／祇園祭●8月上旬／京の七夕●8月16日／京都五山送り火●8月最終土・日曜日／千灯供養●10月22日／時代祭●10月22日／鞍馬の火祭●12月中旬／京都・嵐山花灯路●12月31日／をけら詣
工芸品 西陣織・京友禅・清水焼・京漆器・京扇子
Y 味・グルメ 京料理・精進料理・湯豆腐・八つ橋・京漬物

京都府

平安京の頃から一千有余年にわたって都として栄えてきたまち、京都。その悠々たる歴史のなかで培われた雅やかな文化は、多くの人々を魅了し、京都の外へも広がっていきました。その文化は、全国すみずみに根づき、やがて各地に小京都といわれるまちが次第に増えていきました。そして現在、近代都市の様相を見せながらも悠久の歴史を今に伝える社寺などの建造物や茶道・華道・能・狂言といった文化・芸術が伝承されています。古き良き伝統と新しい感覚が共存するなから、さらに、新しい文化が次々と生まれています。



交通 JR山陰本線豊岡駅下車、全但バス出石行きで30分
問い合わせ 但馬国出石観光協会
 (特非) 0796-52-4806
<http://www.izushi.co.jp>



但馬の小京都、出石

Q 見どころ 出石城跡・辰鼓楼・宗鏡寺・家老屋敷・出石永楽館
J 行事 ●4月初旬～5月初旬／桜まつり●5月5日／幟まわし●6月下旬／ほたる祭●8月23日／地藏盆●8月24日の直近の日曜日／愛宕の火祭り●10月15日直前の日曜日／出石だんじり祭り●11月3日／お城まつり●3月の第3土曜日の前後3日間／初午大祭
工芸品 出石焼・出石ちりめん・杞柳製品
Y 味・グルメ 出石皿そば



兵庫県

昔の町並みと現代の建物が共存しているまち、出石。出石城跡をはじめとして、少し歩くと昔の町並みを垣間見ることが出来ます。例えば、旧町内に点在している「守護寺」あるいは、現在も実際に人々が生活している「町家造り」の家、船着場のなごりの「おりゅう灯笼」や太鼓櫓だった「辰鼓楼」など数多く見受けられます。また、四季折々の自然もすばらしく、春は桜やこぶし、秋にはもみじや銀杏などの紅葉が美しく色付きます。四季を通じて人気のある奥山溪谷の清流や白糸の滝、徳神社の御神木「なんじやもんじやの木」など自然とふれ合うこともまた一興です。



交通 篠山城跡へはJR福知山線篠山口駅下車、神姫グリーンバス篠山営業所行きで約15分
問い合わせ 篠山観光案内所 079-552-3380
 篠山口駅観光案内所 079-590-2060
<http://tourism.sasayama.jp/>



人・自然・文化が織りなす食と農の都

Q 見どころ 篠山城大書院・御徒士町武家屋敷群・河原町妻商家群・歴史美術館・春日神社(能舞台)・王地山公園・福住の町並み
J 行事 ●3月上旬／丹波篠山ABCマラソン●4月下旬／にしきシャクナゲまつり●6月上旬／大國寺と丹波茶まつり●8月15・16日／丹波篠山デカンショ祭●10月上旬／丹波篠山味まつり●10月中旬／丹波焼陶器まつり
工芸品 丹波焼・王地山焼・丹波木綿
Y 味・グルメ 丹波篠山黒豆(黒枝豆)・丹波栗・丹波篠山山の芋・ぼたん鍋・丹波篠山牛・丹波茶・丹波篠山米・丹波松茸・篠山まるごと丼



丹波篠山

丹波篠山市には国の重要伝統的建造物群保存地区が京都に向かう西京街道沿いの宿場町と農村集落で構成されている福住地区と、篠山城跡や城下町の町並みと篠山地区の2箇所あります。なかでも篠山地区は旧街道の面影を残した町並みで、1609年(慶長14年)の篠山城築城から商業の中心として栄えました。妻入商家が特徴で、千本格子や荒格子、袖壁など江戸時代の城下町の姿を今に伝えています。この町並みを活かした美術展などのイベントには多くの観光客が訪れます。このような保存活用が評価され、2014年(平成26年)には都市景観大賞を受賞しました。



遠州の小京都 森町

Q 見どころ 小國神社・アクティ森・大洞院・香勝寺・極楽寺・蓮華寺・友田家
J 行事 ●4月上旬／天宮神社十二段舞楽●4月下旬／小國神社十二段舞楽●7月中旬／山名神社天王祭舞楽●8月15日／納涼花火大会●11月第1金・土・日曜日／森のまつり●11月下旬／小國神社・大洞院紅葉
工芸品 森山焼
Y 味・グルメ お茶・治郎柿・とうもろこし・和菓子



静岡県

遠州森町は三方を小高い山々に囲まれ、中央を「太田川」が流れる風情豊かなまち。かつては火伏せの神「秋葉神社」へ通ずる街道の宿場町として、江戸時代中期頃からは「古着のまち」として葛飾北斎の「栄える都市の番付」の前頭、その名が掲げられるほどの盛況をみせていました。1923年(大正12年)7月、森町を訪れた地理学者「志賀重昂」は、山紫水明のこのまちを「小京都」と称賛し、以来遠州の小京都と呼ばれるようになりました。永い歴史を刻み、人々の信仰を集めている神社や仏閣も数多く点在し、そこに伝承される舞楽や祭りは、森町独自の文化を創出してきました。



抹茶の薫る城下町

Q 見どころ 実相寺・稲荷山茶園公園・西尾市歴史公園・国宝金蓮寺弥陀堂・華蔵寺・佐久島・三ヶ根山
J 行事 ●1月3日／てんてこ祭●2月上旬／鳥羽の火祭り●3月下旬～4月上旬／西尾祇園祭●8月14日／貝吹のかぎ万燈●8月15日／米津の川まつり●8月下旬／三河一色大堤灯まつり●8月下旬／ハワイアンフェスティバル●10月中旬／「西尾の抹茶」の日
工芸品 きらら鈴・鶴城焼
Y 味・グルメ 抹茶・うなぎ・えびせんべい



愛知県

大給松平六万石の城下町として古くから栄えてきた西尾市は、愛知県中央南部に位置し、歴史ある名所旧跡、古式ゆかしい伝統芸能、大名行列をはじめとする祭など文化や芸能が今も大切に受け継がれています。温暖な気候と市の西部を流れる矢作川の恩恵を受けお茶の栽培が盛んで、なかでも抹茶の原料の「てん茶」は全国でも有数の生産量を誇り、特許庁の地域ブランド「西尾の抹茶」として認定を受けています。そのほかにも「一色産うなぎ」「三河一色えびせんべい」など、地域ブランドに認定されており美しい特産品が揃っています。



文化薫る歴史の街

Q 見どころ 伊賀流忍者博物館・伊賀上野城・伊賀聖殿・だんじり会館
J 行事 ●5月ゴールデンウィーク／伊賀上野NINJAフェスタ●中秋／お城まつり(新能)●10月12日／芭蕉祭●10月／上野天神祭
工芸品 伊賀くみひも・伊賀焼
Y 味・グルメ 伊賀肉・豆腐田楽・かたやき

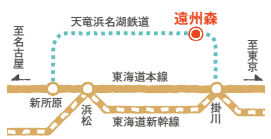


三重県

三重県の北西部、周囲を山で囲まれた伊賀盆地。このほば中央に位置しているのが伊賀市です。江戸時代、藤堂高虎により碁盤目状に整備された城下町は、現在でもその面影が残っており、その景観は千年の都、京都をイメージさせます。さらに伊賀上野は、歴史の陰で活躍した伊賀忍者・伊賀流忍術発祥の地であるほか、漂泊の詩人として各地を旅し、紀行文や数々の名句を生んだ松尾芭蕉の生誕地でもあります。



交通 天竜浜名湖鉄道遠州森駅下車
問い合わせ 森町観光協会
 0538-85-6316
<https://www.mori-kanko.jp/>



交通 名古屋鉄道西尾線西尾駅下車
問い合わせ (一社) 西尾市観光協会
 0563-57-7882
<http://nishiokanko.com/>



交通 伊賀鉄道伊賀市駅下車
問い合わせ (一社) 伊賀上野観光協会
 0595-26-7788
<http://www.igueno.net/>
<http://iganinja.jp/>





交通
JR山口線津和野駅下車
問い合わせ
(一社) 津和野町観光協会
☎ 0856-72-1771
http://www.tsuwano-kanko.net
✉ tsuwanok@tsuwano-kanko.net



なつかしい国 石見

Ｑ 見どころ 永明寺・津和野城址・太鼓谷稲成神社・森嶋外旧宅・殿町
♪ 行事 ●1月1日午前0時より／元旦祭●4月第2日曜日前午11時・午後2時より／鷺原八幡宮大祭(やぶさめ神事) ●5月3日午前10時30分より／乙女峠まつり ●5月15日／稲成神社春の大祭 ●6月第1第2金・土曜日(予定)／ホテルバス ●7月20・27日／祇園祭(鷺舞神事) ●8月15日／殿町盆踊り ●10月第3日曜日／芋煮と地酒の会 ●11月15日／稲成神社秋の大祭
🍷 工芸品 和紙の民芸品
🍷 味・グルメ 源氏巻・いも煮・うずめ飯・地酒



島根県 津和野

山陰の小京都といわれる津和野は、中国山脈の末端島根県の西南に位置しています。人口8千余り、方1里の中心部は城下町として人家1千余戸がひしめき、まちを縦貫する綿川(津和野川)の清流をはさんで、東に青野山、西に城山がそびえる景勝の地です。それとともに陰陽を結ぶJR山口線の中心にあり、今を去る約700年の昔、開祖吉見頼行が封地されて以来吉見氏14代 坂崎出羽守16年、亀井藩主11代の居城としていん盛を極めた土地でもあります。



童謡の里 龍野

Ｑ 見どころ 龍野公園・龍野城・聚遠亭・童謡の小径・うすくち龍野醤油資料館・堀保乃糸資料館そうめんの里
♪ 行事 ●4月上旬／龍野さくら祭 ●8月第1土曜日／龍野納涼花火大会 ●11月11日／龍野観月の夕 ●11月上旬／たつの市民まつり ●11月中旬／たつの市皮革まつり
🍷 味・グルメ 醤油まんじゅう・そうめん



兵庫 龍野

たつの市の中央部に位置する龍野エリアは小山が随所に散在した山紫水明のまちです。また脇坂5万3千石の城下町であり、市街には武家屋敷、白壁の土蔵が今なお残っており、播磨の小京都ともいわれています。古くから交通の要衝であり、大地を潤した清澄な堀保川の流れば今も変わらず、醤油・素麺・皮革等伝統的産業を育ててきました。龍野の美しさは、鶏籠山の緑、堀保川の清流、古い町並みの織りなす美しさであり、それが長い星霜と古い歴史によりいぶされ、底光りと豊かな詩情をたたえているところにあります。

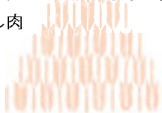


交通
JR姫新線本竜野駅下車
問い合わせ
たつの市観光協会
☎ 0791-64-3156
http://www.city.tatsuno.lg.jp/



歴史と文化の城下町 津山

Ｑ 見どころ 鶴山公園・衆楽園・つやま自然のふしぎ館・城東町並み保存地区・津山洋学資料館・作楽神社
♪ 行事 ●3月下旬～4月中旬／津山さくらまつり ●8月第1土・日曜日／津山納涼ごんごまつり ●10月第3～4日曜日／津山まつり ●11月中旬～11月下旬／津山城もみじまつり
🍷 工芸品 横野手すき和紙・作州牛(竹細工)・作州餅
🍷 味・グルメ 桐饅・いちま・十萬石・初雪・津山ホルモンうどん・そぐり鍋・干し肉



岡山県 津山

津山は古くから、美作の政治経済の中心地、出雲街道・吉井川水運などの交通拠点として栄えてきました。1603年(慶長8年)森忠政の入国によって築かれた強固な城下町は今でもその面影を色濃く残しています。巧妙に積み上げられた石垣の津山城跡を中心に城東、城西に分かれる近代的な町並みのなかに宿場風情を漂わせる旧出雲街道沿い、閑静なたたずまいをみせる武家屋敷……町全体が緑が覆い、清流が流れ、神社、仏閣が多く、「西の京都」とも呼ばれ、四季を通して多くの人が訪れます。



懐かしい風景に出逢う

Ｑ 見どころ 白壁土蔵群・打吹公園・大岳院・大蓮寺・長谷寺・倉吉淀屋・鳥取二十世紀梨記念館なしつこ館・豊田家住宅・伯耆国府跡・伯耆国分寺跡・緑の彫刻プロムナード・倉吉線鉄道記念館・円形劇場くろよしフィギュアミュージアム・関金温泉・旧国鉄倉吉線廃線跡
♪ 行事 ●2月第3日曜日／長谷の観音市 ●3月下旬～5月上旬／倉吉春まつり ●4月第1日曜日／くろよし打吹流しびな ●8月初旬土・日曜日／倉吉打吹まつり ●9月第1日曜日／倉吉せきがね里まつり・里見時代行列
🍷 工芸品 倉吉餅・はこた人形・竹工芸・倉吉いか(夙)・陶芸(上神焼・倉吉焼・八幡窯・国造焼・黒見焼・福光焼・玉伯焼・上神焼・上神山窯・打吹焼)
🍷 味・グルメ 打吹公園だんご・餅しゃぶ・餅・二十世紀梨・牛骨ラーメン・極実スイカ・プリンスメロン・鳥取和牛・関金わさび・関金そば

鳥取県 倉吉

倉吉市は、伯耆国の中心地として古くから栄え、今なお名所・旧跡・歴史街道などが大切に受け継がれています。国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されています。白壁土蔵群の周辺は、どこか懐かしい雰囲気、どこか懐かしい雰囲気が漂い、ひとたびまちなかを散策すれば、誰もが時を忘れあの日に還れる瞬間に出会わずです。また関金地域には、1300年の歴史をもつ白金(しろがね)の湯「関金温泉」や、大自然をフィールドに思う存分楽しんでいた体感スポットも満載です。



交通
JR山陰本線倉吉駅下車
問い合わせ
倉吉白壁土蔵群観光案内所
☎ 0858-22-1200
倉吉市ホームページ http://www.city.kurayoshi.lg.jp/
(一社) 倉吉観光MICE協会 https://kurayoshi-kankou.jp



にぎやかな清流のまち 高梁市

Ｑ 見どころ 備中松山城・頼久寺庭園・石火矢町ふるさと村・武家屋敷・商家資料館・郷土資料館・吹屋ふるさと村・広兼邸
♪ 行事 ●2月上旬／愛らぶ高梁ふれあいマラソン ●4月上旬／町家通り雛まつり ●6月上旬／神楽の里でホテルまつり ●7月最終土曜日／成羽愛宕大花火 ●8月上旬／マンガ絵ぶたまつり ●8月14日～16日／備中たかはし松山踊り ●9月中旬／吹屋ペンガウ灯り ●10月／愛らぶ高梁ふれあい広場(予定) ●10月下旬／備中松山城とまるごと城下町フェスタ ●11月／風ぐるまフェスタ
🍷 工芸品 ひな人形・備中神楽面
🍷 味・グルメ ゆべし・鮎・備中宇治茶・ピオーネ・高梁紅茶・トマト・神楽面最中・紅だるま



岡山県 高梁

備中の小京都と呼ばれる高梁、美しい山々に囲まれた盆地の中心部を、清流高梁川がゆつくりと流れています。かつて、備中の中心地として栄え、藩政時代のなごりをとどめた市内には、日本で唯一現存する山城「備中松山城」をはじめ「頼久寺」「武家屋敷」「商家資料館」など数多くの遺産が点在し、長い歴史と文化の薫りを漂わせながら、人々の暮らしを見守り続けています。また、国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されている「吹屋ふるさと村」など、高梁にはそのほか多くの観光施設が点在しています。



国際文化観光都市

Ｑ 見どころ 国宝松江城・月照寺・堀川遊覧船・県立美術館・松江歴史館・小泉八雲記念館・武家屋敷・茶室(明々庵・普門院・菅田庵)・玉造温泉・松江しんじ湖温泉
♪ 行事 ●3月下旬～4月中旬／お城まつり ●4月第1土曜日／松江武者行列 ●4月下旬／茶筌供養 ●4月下旬～5月上旬／大根島ぼたん祭 ●6月第1土・日曜日／松江城大茶会 ●8月第1週末※2021年は9月11日・12日開催予定／松江水郷祭 ●10月1日～10月31日／松江水燈路 ●10月中旬～11月上旬／菊花展 ●10月第3日曜日／松江祭(どう)行列
🍷 工芸品 八雲塗・陶芸(楽山焼・布志名焼・袖師焼)・出雲民芸紙・めうの細工・松江姉妹人形
🍷 味・グルメ 和菓子・あご野焼・宍道湖大和しじみ・出雲そば・出雲銘茶・松江いわがき

島根県 松江

宍道湖と大橋川、掘割に抱かれた水の都松江は、歴史と文化の薫り高いしつとりと落ち着いた城下町です。季節ごとに色合いを変える宍道湖の夕景が美しい街。宍道湖畔に立並ぶ松江しんじ湖温泉と玉造温泉の街。明治の文豪、小泉八雲(ラファディオ・ハーン)がこよなく愛した街。古代出雲文化発祥の地、神話と史跡の街。縁結び、パワースポットも多数。抹茶と和菓子の街。宍道湖七珍料理など食べ物の美味しい街。代表的なものにしじみ、出雲そば、あご野焼、津田かぶ漬、銘柄豊富な地酒、冬のカニなどがあります。



交通
JR山陰本線松江駅下車
問い合わせ
(一社) 松江観光協会
☎ 0852-27-5843
https://www.kankou-matsue.jp/





交通
JR予讃線伊予大洲駅下車
問い合わせ
大洲市観光協会
☎ 0893-24-2664
<http://www.oosukankou.jp/>



交通
土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線安芸駅下車
問い合わせ
安芸市商工観光水産課
☎ 0887-35-1011
<http://www.city.aki.kochi.jp/>



交通
土佐くろしお鉄道中村・宿毛線中村駅下車
問い合わせ
（一社）四万十市観光協会
☎ 0880-35-4171
<https://www.shimanto-kankou.com>
✉ info@shimanto-kankou.com



やすらぎの憩うまち
伊予の小京都 大洲

Ｑ 見どころ 大洲城・臥龍山荘・おおず赤煉瓦館・おはなはん通り・富士山
♪ 行事 ●3月28日～4月25日／観光さくらまつり ●4月25日～5月15日／つつじまつり ●6月1日～15日／ほたる・しょうぶまつり ●8月3日／大洲川まつり花火大会 ●11月1日～30日／もみじまつり ●11月2・3日／大洲まつり ●11月3日／おおず浪漫祭 ●1月9日～11日／えびすまつり ●旧正月1日～4日／祇園まつり ●6月1日～9月20日／うかい ●8月下旬～10月中旬／いもとき



おおず
愛媛県 大洲

伊予の小京都大洲は、加藤家六万石の城下町として栄え現在も昔ながらの町並みが至るところに残されています。まちの中心には、清流肱川が流れており小京都の風情を感じることが出来ます。この肱川を利用して、鵜飼をはじめ遊覧・いもたきなどの観光行事が行われております。また、2004年（平成16年）に当時のまま復元された大洲城も見どころの一つとなっております。



自然風景
NATURAL LANDSCAPE

あき
高知県 安芸

歴史と文化の香るまち

Ｑ 見どころ 岩崎彌太郎生家、銅像・野良時計・土居邸中・内原野公園・カリヨン時計・安芸城跡・弘田龍太郎曲碑
♪ 行事 ●3月下旬～5月上旬／内原野つつじ祭り ●8月第1土・日曜日／安芸納涼市民祭 ●10月第2土・日曜日／高知東海岸グルメまつり ●12月第2土曜日／安芸キャンドルナイト ●12月第2日曜日／安芸タートルマラソン全国大会
◎ 工芸品 内原野焼・安芸瓦
♪ 味・グルメ いもけんぴ・土佐ジロー（地鶏）・野菜アイス・ゆず製品・なす・釜あげちりめん丼・入河内大根



1887年（明治20年）頃に手づくりされた野良時計や、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された武家屋敷の街並みなど歴史的文化財が多く残る安芸市。三菱の創業者となった岩崎彌太郎の生誕地でもあり、彌太郎が生まれ育った生家や銅像があります。彌太郎ころざし社中（安芸観光情報センター）では、高知県東部の観光情報や最新のイベント情報を案内するほか、世界に冠たる大企業を築いた岩崎彌太郎の立志伝を紹介しています。ほかに、市内を横断する鉄道「ごめん・なはり線」は、車窓からの景色や各駅キャラクターが人気を集め、観光列車として親しまれており、とりわけ阪神タイガースラッピング列車は、シーズン中、県内外から多くのファンに利用されています。最近では、一当地グルメの安芸釜釜あげちりめん丼も人気です。

日本最後の清流四万十川と
トンボのまち、小京都中村

Ｑ 見どころ 四万十川・観光遊覧船・トンボ自然公園・一條神社・不破八幡宮・四万十市郷土博物館「しろと」
♪ 行事 ●3月上旬～3月下旬／四万十川花紀行入田ヤナギ林業の花まつり ●4月第1土・日曜日／四万十川リバーサイドフルウォーク ●5月3日／土佐一條公家行列（藤祭） ●7月最終土曜日／しまんと市民祭 ●8月第1土曜日（午前中）／女郎ぐも相撲大会 ●旧暦7月16日／大文字の送り火 ●8月最終土曜日／納涼花火大会 ●9月第3土・日曜日／不破八幡宮大祭 ●10月中旬／四万十川ウルトラマラソン ●11月22日～24日／一條大祭
◎ 工芸品 中村硯
♪ 味・グルメ 一條公・筏ようかん・鮎の塩焼き・テナガエビの唐あげ・青さのりの天ぷら・うなぎの蒲焼き・中村の塩たき



なかむら
高知県 中村

中村は1468年（応仁2年）前関白一條教房が都の兵火を避けてこの地に下向、京に擬し四神相應の土佐の主都にふさわしいまちが造られました。街は基盤目状に広がり祇園、京町、鴨川、東山などの地名があります。市街地は清流四万十川と、その支流後川に囲まれ、そのたたずまいは最も京に似ています。土佐一條氏は5世106年にわたり戦国の混乱をよそに京文化の影響を受けて、みやびやかな独特の文化圏を形成、その古都の面影を今に伝えています。清流四万十川をはじめ自然環境は昔ながらの景観を残し、類をみないトンボの生息地として知られています。

せきさきからゆっくり
気まいに尾道

Ｑ 見どころ 千光寺公園・瀬戸内しまなみ海道・因島水軍城・耕三寺・平山郁夫美術館
♪ 行事 ●1月8日／柴燈護摩 ●1月下旬・7月下旬の土・日曜日／本因坊秀策囲碁まつり ●2月3日／節分会 ●4月下旬／尾道みなと祭 ●9月上旬／おのみち住吉花火まつり ●8月最終土・日曜日／因島水軍まつり ●10月中旬／灯りまつり ●11月1日～3日／ベッチャー祭
♪ 味・グルメ オコゼの唐揚げ・デペラ・尾道ラーメン・水軍鍋・柑橘類



おのみち
広島県 尾道

尾道市は広島県東部の瀬戸内海沿岸に面し、「瀬戸内しまなみ海道」本州側の玄関口です。800余年前に開港、江戸時代には北前船の寄港地として栄えました。港町として発展した尾道には多くの豪商が誕生し多くの寺院を建立しました現在でもその多くが残っており「古寺めぐりコース」という散策道で巡ることが出来ます。また文人墨客が愛した街としても知られ、林芙美子や志賀直哉をはじめとした多くのゆかりのある著名人の作品を市内各所で目にする事が出来ます。島嶼部に目を向けると「瀬戸内しまなみ海道」に沿って、洋らん島、向島、中世紀に活躍した村上水軍の本拠地「因島」、柑橘の産地として知られ、西の日光とも呼ばれている「耕三寺」のある「生口島」とそれぞれに特色を持った島が連なっています。



おいでませ 西の京山口

Ｑ 見どころ 国宝瑠璃光寺五重塔・山口サビエル記念聖堂・常栄寺雪舟庭・龍福寺（大内氏館跡）・湯田温泉・中原中也記念館・狐の足あと
♪ 行事 ●2月中旬／阿知須ひなもんまつり ●4月上旬／一の坂川桜ライトアップ・湯田温泉白狐まつり ●5月下旬～6月上旬／ほたる観賞Week！ ●7月20日～27日／山口祇園祭 ●8月6・7日／山口七夕ちようちんまつり ●8月下旬～9月上旬／あいおえび狩り世界選手権大会 ●9月／山口ゆらめき回廊 ●11月23日／山口天神祭 ●12月／日本のクリスマスは山口から
◎ 工芸品 大内塗・山口萩焼
♪ 味・グルメ 大内御膳・外郎・車えび・りんご・紅きらら・くりまさる・はなっこりー



やまぐち
山口県 山口

京の都に憧れた大内氏。都に模して街づくりをし、「西の京」として栄華を極めた「やまぐち」。国宝瑠璃光寺五重塔や京の鴨川に見立てた一の坂川は、桜、ゲンジボタル、豊かな新緑、紅葉そして純白の雪景色と四季折々の情緒を醸し出します。そんな山口を一言で紹介すると、……そつと目を閉じてください。「せせらぎと 鐘と汽笛が響く街」やまぐちを感じ取られます。ご宿泊には湯田温泉の美肌の湯でゆっくりください。

新緑のふるさと・萩

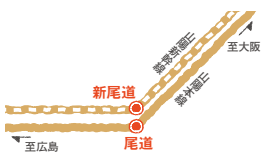
Ｑ 見どころ 大照院・東光寺・萩城跡・萩城下町・明神池・松下村塾・笠山椿群生林・萩反射炉
♪ 行事 ●2月3日～4月3日／萩城下の古き難たち ●2月中旬～3月下旬／萩・椿まつり ●3月上旬／萩・しろ魚まつり ●3月上旬／萩の真ふぐまつり ●5月1日～5日／萩焼まつり ●5月3・4日／萩・大茶会 ●5月中旬／萩・夏みかんまつり ●8月1日／萩・日本海大花火大会 ●8月1日～3日／萩夏まつり ●10月上旬～／着物ウィークin萩 ●10月第2日曜日／萩・魚まつり ●11月中旬／萩時代まつり
◎ 工芸品 萩焼・萩ガラス
♪ 味・グルメ 瀬つきあじ・あまだい・いとこ煮・けんさいか・焼猪脰・真ふぐ・見蘭牛・むつみ豚・夏みかん

はぎ
山口県 萩

萩市は県北部、日本海に面し、市街は三方を山に囲まれ、清流阿武川が分岐した橋本川と松本川に抱かれたデルタ上に発展した、典型的な江戸時代の城下町の姿を残しているまちです。萩の名が歴史上に登場するのは1604年（慶長9年）に毛利氏が指月山麓に萩城を築き、萩藩36万石の城下町になってからです。また、幕末には維新の先覚者吉田松陰をはじめ高杉晋作、久坂玄瑞など多くの逸材を世に送り出しました。2015年（平成27年）には萩城下町、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、松下村塾、大板山たたら製鉄遺跡の5資産が「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されました。



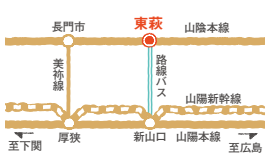
交通
JR山陽本線尾道駅およびJR山陽新幹線新尾道駅下車
問い合わせ
（一社）尾道観光協会
☎ 0848-36-5495
<https://www.ononavi.jp>



交通
JR山口線山口駅下車
問い合わせ
（一財）山口観光コンベンション協会
☎ 083-933-0088
<http://yamaguchi-city.jp/>



交通
JR山陽新幹線新山口駅下車、スーパーはぎ号（直行バス）で約60分
問い合わせ
萩市観光課 ☎ 0838-25-3139
<https://www.hagishi.com/>





交通
九州新幹線新玉名駅下車、車で約30分
問い合わせ
山鹿市商工観光課
☎ 0968-43-1579
<https://yamaga-tanbou.jp/>



交通
JR久大本線日田駅下車
問い合わせ
(一社) 日田市観光協会
☎ 0973-22-2036
<https://www.oidehita.com>



交通
JR日豊本線杵築駅下車、バス・タクシーで10分
問い合わせ
(一社) 杵築市観光協会
☎ 0978-63-0100 FAX 0978-63-0112
<https://www.kit-suki.com>
✉ info@kit-suki.com



歴史・風景・田園
田園観光市

熊本県 山鹿



Ｑ見どころ さくら湯・八千代座・山鹿灯籠民芸館・鞠智城・チブサン古墳・不動岩・一本松公園・菊鹿ワイナリー
♪行事 ●2月の金・土曜日／山鹿灯籠浪漫・百華百彩 ●2月4日／義士慰霊祭 ●6月15日／犬子ひょうたん祭 ●8月15日・16日／山鹿灯籠まつり ●12月20日／山鹿温泉復活感謝祭
●工芸品 山鹿灯籠・来民うちわ・山鹿傘
♪味・グルメ 燈籠もなか・山鹿ようかん・山鹿和菜・菊鹿ワイン

熊本県北部に位置し、福岡・大分の両県と境を接している山鹿市。北部には美しい山間地域と清らかな渓谷・渓流があり、中央部から南部にかけては田園地帯が広がる自然豊かな都市です。豊富な湯量と良質な泉質で知られる山鹿温泉郷をはじめ、古き町並みを今に伝える豊前街道・国指定重要文化財「八千代座」、国指定史跡「鞠智城跡」など、多くの文化財を有しています。また、毎年8月15・16日に行われる「山鹿灯籠まつり」では、和紙と糊だけで作られた金灯籠を頭に掲げた女性達が優雅に舞い、九州を代表する夏の風物詩となっています。



山あいに思いやりが深い町あり

大分県 日田



Ｑ見どころ 小鹿田焼の里・草野本家・廣瀬資料館・日田祇園山鉦会館・天領日田資料館・史跡威宜園跡・サッポロビール九州日田工場・いいちこ日田蒸留所
♪行事 ●2月15日～3月31日／天領日田おひなまつり ●5月下旬／日田川開き観光祭 ●7月下旬／日田祇園山鉦鉦顔見世／日田祇園祭 ●10月中旬／小鹿田焼民陶祭 ●11月中旬／日田天領まつり／千年あかり
●工芸品 日田杉下駄・小鹿田焼
♪味・グルメ やきそば・鮎・うなぎ料理

北部九州のほぼ中心に位置する、大分県日田市。四方を山々に囲まれた盆地のまちです。江戸時代、幕府の直轄地であった天領として栄えました。当時「掛屋」と呼ばれる幕府の公金を扱う豪商たちが活躍し繁栄を極めました。豆田町の町並みや資料館では、今でもその栄華を目にすることが出来ます。また、日田は水郷の名にふさわしく、水が豊かで美しい地です。市内を流れる三隈川では、屋形船で酒をくみかわしながら、鵜飼見物を楽しむという風流な川遊びも残っています。もちろん、酒は日田の清らかな水を使った地酒です。



全国初「きつぎ」の町並み
歴史的町並み認定

大分県 杵築



Ｑ見どころ 杵築城・大原邸・酢屋の坂・きつき城下町資料館・一松邸・若宮八幡社・能見邸
♪行事 ●2月中旬～3月中旬／城下町杵築散策とひいなめぐり ●4月6日／若宮八幡社御田植祭 ●4月下旬／エビネまつり ●5月上旬／きつきお城祭り ●7月24・25日／天神まつり ●8月中旬／納涼花火大会 ●9月中旬／若宮祭 ●10月上旬／観月祭 ●10月17・18日／白鬚田原神社どぶろく祭り ●12月2～5日／若宮八幡社祭典
●工芸品 杵築焼司窯(つかさがま)・刀鍛冶の手造り包丁・きつき松曲輪
♪味・グルメ きつきハウスみかん・清酒(智恵美人)・豊後別府湾チリメン・守江湾のカキ・きつき茶・きつき紅茶

仏の里国東半島の南の玄関口に位置する九州の小京都 杵築は、カブトガニが生息する美しい守江湾を望む風光明媚な坂道の城下町です。江戸時代、松平三万三千石の城下町として栄えた杵築には今でも多くの武家屋敷や土堀、石畳の坂道が残されています。南北の高台に武士が住み、その谷間で商人が暮らした町並みは当時の身分制度を表した特徴的なものであり、このような凹凸の地形を活かした城下町は日本唯一といわれています。また「きつき和服町」を行っており、和服姿の方にはうれしい特典もあります。瀬戸内の潮風に包まれて静かに時を重ねる杵築へ是非お越しください。



人・自然・歴史が織りなす
水にひかる朝倉

福岡県 朝倉



Ｑ見どころ 秋月(秋月城跡)・国指定平塚川添遺跡公園・あまぎ水の文化村・キリン花園(ボビー・コスモス)・三連水車群・山田堰
♪行事 ●1月4・5日／甘木バタバタ市 ●4月第1日曜日／秋月春祭り ●7月13日～15日／祇園山笠 ●8月下旬／流れ滝頂花火大会 ●9月下旬／秋月観月会 ●10月21日／蜷城くち ●2月～3月上旬／古都秋月雛めぐり
●工芸品 草木染・手漉和紙
♪味・グルメ 淡水のり(スイゼンジノリ)・葛・棒飴・蒸し雑煮

福岡県の中央に位置する朝倉市は、古代は邪馬台国の候補地であり、百済救援では斉明天皇が朝倉宮を置いた地でもあります。中世には九州修験道の中心地・彦山座主が居住した黒川院があります。また、筑前的小京都と呼ばれる秋月は、豊臣秀吉に抵抗した秋月氏の拠点であり、近世には黒田官兵衛の孫長興が治めた城下町として栄えました。現在、町並みが保存され、春は桜・秋はもみじと、歴史と自然を訪ねて多くの観光客が訪れます。また、2017年(平成29年)10月開館の秋月博物館では、秋月黒田家ゆかりの品々が観覧できます。



交通
秋月へは、甘木鉄道甘木駅下車、甘木観光バス秋月線で20分
問い合わせ
朝倉市商工観光課
☎ 0946-52-1428



清らかな水とそこに
棲む虫と美しい花々

佐賀県 小城



Ｑ見どころ 清水の滝・小城公園・江里山の棚田・祇園川の源氏ボタル・須賀神社
♪行事 ●2月／寒鯉まつり ●3月上旬／梅まつり ●4月初旬／春雨まつり ●7月下旬／山曳祇園 ●9月中旬／彼岸花まつり ●11月中旬／小城ing～たづぷり!おぎめぐり、日本一!ようかん祭り
♪味・グルメ 小城羊羹・清水の鯉料理・小川の銘酒

小さな城、と書いて「おぎ」。地名から想像すれば白亜の天守閣がそびえたつ城下町という感じなんです。が、残念ながら、このまちにはお城はありません。でも、まちを歩けば何処か城下町の雰囲気漂ってくるから不思議。これは、その昔、京都のまちを模して造られたという閑静な町並みのせいなのかとも知れませんが、清らかな水と、そこに棲む虫。そして、美しい花々。この恵まれた小川の自然と、素朴な風情を旅のお土産にして欲しいのです。



交通
JR唐津線小城駅下車
問い合わせ
小城市商工観光課
☎ 0952-37-6129
<http://www.city.ogi.lg.jp/>



日本でもっとも豊かな自然里

熊本県 人吉

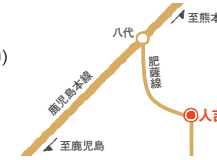


Ｑ見どころ 人吉城跡・人吉鉄道ミュージアム・国宝青井阿蘇神社・球磨川下り・人吉クラフトパーク石野公園・人吉駅前からくり時計・鍛冶屋町通り
♪行事 ●4月下旬／人吉温泉まつり ●8月15日／人吉花火大会 ●10月3日～11日／おくんち祭 ●2月～3月／人吉球磨は、ひなまつり ●2月中旬／人吉温泉春風マラソン ●2月下旬／人吉梅まつり
●工芸品 キジ馬・花手箱
♪味・グルメ 球磨焼酎・鮎の塩焼・鮎うるか・猪料理・山菜・うなぎ

人吉は、九州山地の山々に囲まれ、市内の中心部を日本三急流の一つ「球磨川」が東西に貫流しており、水と緑そして市内約80ヶ所に源泉が湧く、自然資源に恵まれた情緒豊かな街です。また、相良家の城下町としても栄えたこの地方は「相良文化」と呼ばれる独特の文化を育み、「国宝青井阿蘇神社」をはじめ、鎌倉時代からの神社仏閣、仏像などが数多く残っており、中世仏教美術の宝庫として全国的にも注目を集めています。そして、その文化財や遺構、風俗などが、脈々と現在に息づいていることから、2015年(平成27年)4月に文化庁の「日本遺産」地区に認定されました。また、観光列車の街としても注目をあつめています。



交通
JR肥薩線人吉駅下車
(令和2年7月豪雨災害により運休中)
問い合わせ
人吉市観光案内所
☎ 0966-22-2411
<http://hitoyoshionsen.net/>



とっておきの京都

山科

大原

高雄

とっておきの京都

～ 定番のその先へ～

西京

伏見

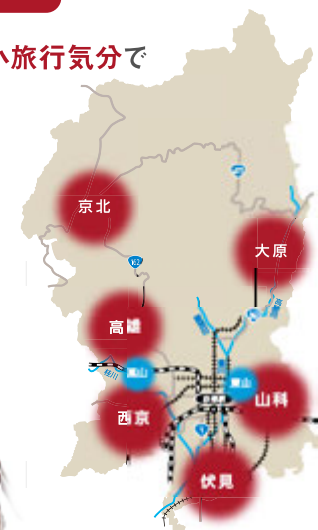
京北

“とっておきの京都プロジェクト”って？

東山、嵐山・・・。
京都市には世界的に有名なたくさんの観光名所があります。
でも、**まだまだ知られていないスポットが**
たくさんあるのをみなさんご存知ですか？
伏見、大原、高雄、山科、西京、そして京北。
このような市内周辺エリアにスポットをあて、
ガイドブックには載っていないような
知る人ぞ知る隠れた魅力や
新たな観光情報、地域のイベントなど、
「とっておき」の情報をお届けします。

どこにあるの？

市内中心部から、小旅行気分
楽しめる距離です。



とっておきの京都プロジェクト公式Webサイト

地元住民と京都観光のプロがタッグを組んで、とっておきの穴場スポットやグルメなど、京都ソウ向けの情報を発信しているWebサイトです！

Point 1

**旅の楽しみ方や
イベント情報が満載！**

とっておきの楽しみ方が見つかります。

Point 2

**誰でも情報発信できる
参加型Webサイト！**

旅先で見つけた素敵な情報を気軽に投稿できます。

Point 3

Instagramと連動！あなたの写真を公式Webサイトに掲載！

「#とっておきの京都プロジェクト」にお気に入りのスポットの写真を投稿しよう！

Webサイトは
こちらから



とっておきの京都プロジェクト

緑と黒潮が育む産業・
文化・交流都市

宮崎県

日南

城 CASTLE

見どころ 松尾の丸・豫章館・歴史資料館・藩校振徳堂・国際交流センター小村記念館・旧山本猪平家・商家資料館・旧高橋源次郎家

行事 3月下旬～4月上旬／花立公園桜まつり 7月海の日の週の土・日曜日／油津港まつり 10月の第3土・日曜日／鉄肥城下まつり 9月～11月／伊勢えび大漁まつり（市内十数店舗）

工芸品 鉄肥杉工芸品

味・グルメ 焼酎・海産物・農産物・鉄肥の天ぷら・厚焼きたまご・日南一本釣りカツオ炙り重・鉄肥城下町「食べあるき・町あるき」



日南市は宮崎県南部に位置し、1955年（昭和30年）には日南海岸が国定公園に指定され、1977年（昭和52年）には小京都「鉄肥」が九州では初めて国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。「鉄肥」を訪れると数百年の時をスリッパして江戸時代に迷い込んだ気分になり、そこには古い生け垣や苔むした石垣が続く武家屋敷数格ある薬師門の奥から侍が出てきそうです。また、日南市には、弁甲（鉄肥杉の木材）後流しの堀川運河、日向灘の荒々しい潮に洗われる断崖の中腹にある鶴戸神社があります。そして、ポーッとマス条約締結で活躍した明治の外交官小村寿太郎侯の生誕地があります。

古い町並みに心やすらぎ、
平和の尊さを語りつぐ都市

鹿児島県

知覧

町並み TOWNSCAPE

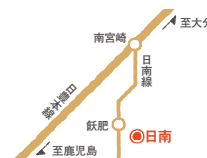
行事 2月第1土・日曜日／川辺二日市・知覧二日市 5月3日／知覧特攻基地戦没者慰霊祭 7月9・10日／豊玉姫神社水からくり上演 7月第3土曜日／知覧ねぶた祭 7月第4日曜日／川辺祇園祭 8月15日／平和へのメッセージ from 知覧 8月第3日曜日／えいのゴッソイまつり 10月最終日曜日／小京都ふるさと祭 11月／南九州市あかりの道標「ちらん灯彩路」 11月第2日曜日／かねべ磨崖仏まつり

味・グルメ 知覧茶・紅さつま（さつまいも）・和牛・焼酎

南九州市知覧町は、薩摩半島の南部に位置し、年間70万人が訪れる観光のまちです。市中心部の麓地区には武家屋敷群が今も残っており、7つの名勝庭園（一般公開）のほか美しく整然とした町並みは古くから「薩摩の小京都」と呼ばれています。また、太平洋戦争末期には本土最南端の陸軍特攻基地が置かれた場所でもあり、現在跡地には「知覧特攻平和会館」が建てられ、当時の資料や特攻隊員の遺書などを展示、周辺には戦争遺跡が散在しており「平和の尊さを語りつぐ都市」として全国に情報発信をしています。農業面においては、日本一のお茶とさつまいもの生産地であり、農林水産大臣賞を数多く受賞するなど全国にその名が知られています。



交通 JR日南線鉄肥駅下車
JR日南線鉄肥駅下車
日南市観光案内所
0987-31-1134
<http://www.kankou-nichinan.jp/>



交通 JR指宿枕崎線平川駅下車、
バス・タクシーで20分
問い合わせ 南九州市商工観光課
0993-83-2511
<http://www.city.minamikyushu.lg.jp/>



京都が京都であり続けるために、観光客の皆様大切にしたいこと【京都観光行動基準（京都観光モラル）】
京都観光に関わる皆が、お互いを尊重しながら持続可能な京都観光を、ともに創りあげましょう！

京都市・公益社団法人 京都市観光協会